

高齢者の人材活用から見た 異世代交流の学び

～社会教育による持続可能な社会の実現のために～

秩父別町教育委員会
社会教育・社会体育係
係長・社会教育主事 渡部泰文

秩父別町の概要

秩父別町は、広範囲な空知管内の北側に位置する、面積47.18平方km=北海道で2番目に面積の小さい町です。

以前、1㎡1円での宅地分譲で注目を集めたこともあります。が、小規模であることを逆手にとって独自の取り組みを展開しています。特に、平成31年には、まちをあげて子どもと子育てを全力で応援する「子ども子育て応援宣言」を行い、町民が子どもを安心して生み育てられるよう、子どもたちが確かな学力を身につけ、元気いっぱいに遊べるよう様々な取り組みを行っています。

○基本情報（令和5年1月1日現在）

総人口 2,297人 高齢化率41.9%（うち後期25.5%）

○主要産業

農業（水稲、ブロッコリー、麦、大豆、そば）

○観光資源

- ・屋内遊戯施設ちっくる
 - ・屋外遊戯施設キュービックコネクション
 - ・ローズガーデンちっぷべつ
- etc...



子ども子育て応援宣言のまち

～子育てするなら「やっぱり」ちっぴべつ～

北海道
秩父別町

このまちに住んでよかった、
生まれてよかったと思えるまちづくりに
取り組んでいます!!

福祉・医療の充実

- 医療費助成
・高校3年生まで無料
- 予防接種費用の助成
【全額助成】
・任意の乳幼児の予防接種
(おたふくかぜ、小児がん等による治療
にて再接種が必要な小児の予防接種)
・高校生までのインフルエンザの予防接種
・65歳以上の方のインフルエンザの予防接種
- 【一部助成】
・大人の風疹予防接種
・65歳以上の高齢者肺炎球菌ワクチンの接種
(2回目の接種も拡大)
・19歳以上65歳未満の方へのインフルエンザの予防接種
・50歳以上の帯状疱疹ワクチンの接種
- 不妊治療の助成
・保険適用の自己負担分の全額助成
- 妊産婦健診費用の助成
・妊産婦健診費用16回分(産婦健診は3回分まで)
・妊産婦健診交通費助成(定額)
・乳児1ヶ月健診費用の助成
- 住民健診・人間ドック費用の助成
・住民健診受診費用の全額助成
(住民健診は20歳以上)
・人間ドック受診費用の一部助成
・高齢者人間ドック受診費用の一部助成
・脳、肺ドック受診費用の一部助成
・肺、胃、大腸、前立腺がん検診費用の全額助成
・子宮、乳がん検診費用の全額助成
(20歳以上・毎年受診可能)
・骨密度検査の全額助成
- 単独脳ドック・単独肺ドック受診費用の一部助成
- 高齢世帯生活支援の充実
・除雪サービス、配食サービス、屋根雪除雪
- 脳の検診受診費用の一部助成(偶数年実施)
- 温泉入館料の半額助成(60歳以上)
- タクシーチケット助成(60歳以上)
- 路線バス高齢者利用支援事業(65歳以上)
- 高速バス利用者タクシー全額助成

子育て支援

- 出産祝い
・出産後1年を経過した世帯
・第1子10万円 ・第2子20万円
・第3子以降30万円
- 子育て支援水道基本料全額助成
・高校生以下の子供を養育している世帯
- 乳児家庭全戸訪問
・生後4か月未満の乳児家庭へ保健師、
助産師による訪問指導等
- 産後ケア事業
○認定こども園保育料の軽減
・国基準の5割～7割 ・多子軽減
- 子育て支援事業
・育児相談事業 ・一時保育等
- 放課後子ども事業
・放課後子ども教室
- チャイルドシート貸出
- 新入学児童生徒への入学祝い贈呈
- こども屋内遊戯場キッズスクエアちっぴる
- こどもの夢に向かった活動等への助成
- 子育て支援アプリの活用
- 出産・子育て応援ギフト

移住・定住支援

- 結婚祝い金支給事業
・1組20万円
- 住宅用地取得助成
・用地購入価格の2/3
※上限 新築100万円 中古100万円
- 新築住宅取得補助金
・100万円
・新婚・子育て世帯(養育1人)50万円上乗せ
・子育て世帯(養育2人) 100万円上乗せ
・子育て世帯(養育3人) 150万円上乗せ
- 空き家等情報提供制度
- 移住体験の実施
・滞在型市民農園「なつみの里」
- 移住体験住宅
- 合併処理浄化槽設置費用の助成
・新築 費用の1/2を助成※上限50万円
・既存 費用の1/3を助成※上限50万円
- ふるさと帰郷同窓会開催助成
・1人につき1,000円を助成 ※上限3万円
- 結婚新生活支援補助金※上限60万円
- 新婚・子育て世帯家賃助成
- 新婚・子育て世帯引越費用助成
- 町内就業者定住促進家賃助成
- 秩父別町住宅リフォーム助成
・持家 費用の1/3を助成※上限30万円
・空家 費用の1/2を助成※上限100万円
- 町営住宅の設備充実
・新規入居の新婚、子育て世帯
- U/Iターン新規就業支援事業

産業支援

- 産業後継者新規就業支援事業
・農工商業へ新たに後継者として就業※上限50万円
- 農業後継者就学支援事業
・農業関連大学等に就学し、町内での担い手希望者
月額3万円(高校1万円)
- 商業振興店舗等建設促進助成
・既存事業者 費用の1/4を助成
・新規創業者 費用の1/2を助成
※上限200万円
- 保育士確保対策事業
・保育士修学資金補助金※上限180万円
・保育士就職準備金補助金 20万円
・未就学児を持つ保育士の預かり支援事業等利用料助成金
※月額上限2万円
- 介護従事者資格取得支援助成
- 介護従事者新規就労・就労継続支援助成

安全・安心な生活環境

- 上下水道4m料金設定
・高齢者、単身者負担軽減
- 住宅等除却費補助金 ※上限100万円
- 充実したスポーツ施設等
・パークゴルフ場
・屋内運動場×2
・ふれあいプラザ(土間の体育館)
・B&Gプール等
・3世代公園ベルパークちっぴべつ
- 公共温泉
・毎月2回入館料半額の日
- 上下水道整備の完備
- 除雪の充実
○住宅耐震改修費用助成
・費用の1/5を助成 ※上限30万円



テーマの設定

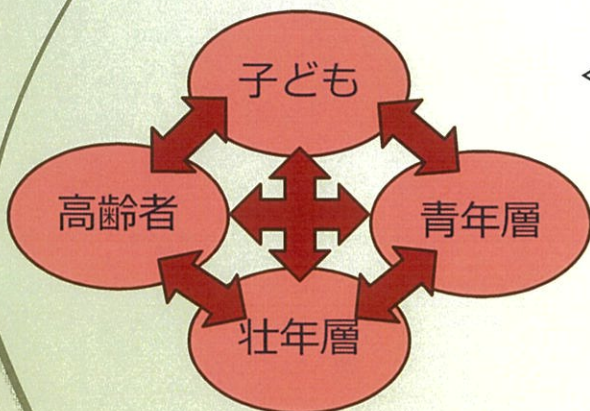
令和5年度～9年度の北海道のメインテーマ

「持続可能な社会の実現に向けた社会教育のあり方」

このメインテーマに対して
空知としてどのようにアプローチするか...

空知管内独自のサブテーマの設定

「多世代が交流できる学びの展開」



＜世代を超えた学び合い＞

- ★学びを深める
- ★自ら新たに学ぶ
- ★学びを支える人を育てる
- ★自ら活動しまちづくり

◆ロードマップ

- 1・2年目 (R5・6)
～高齢者の人材活用～
- 3・4年目 (R7・8)
～青年層の人材活用～
- 5年目 (R9)
～4年間の総括～

秩父別町の取り組み

世代間交流ボランティア

目的

高齢者の持つ優れた知識や経験を生かした世代間交流や、様々なボランティア活動を通じて地域に貢献できる体制づくりをすすめる。

概要

町内ボランティア団体と連携し、高齢者の優れた知識や経験を活かし、子どもたちと交流を深め、世代間交流の充実を図る。

事例その1

まちづくり協働隊による ちっぷっ子ふれあいスクールでの餅つき



ちっぷっ子 ふれあいスクール

放課後子供教室
小学生の放課後の安全・安心な遊びの場を提供する目的で実施。1～3年生がメインで、小学生同士の異年齢交流にもつながっている。

まちづくり協働隊

町民の自主的な活動のもとに、町民と行政が良きパートナーとして連携し、それぞれの知恵を出し合いまちづくりに取り組むことを目標として、平成18年度に結成される。

平成20年度から活動を開始し、現在町内の清掃、お盆明けの墓地清掃、マラソン大会での出店、フットパス等に取り組んでいる。

事例その2

紙芝居作成サークル「リボンの会」による こども園での紙芝居



リボンの会

紙芝居を作成するサークル。高齢者5名で活動している。

こども園以外にも図書館事業「おはなしコンサート」でも紙芝居を披露している。



世代間交流ボランティア事業の分析

開始の きっかけ

子どもの多様な学習・体験のため
地域の人材の活用のため

教委の 関与

日程調整と物品の手配程度

定番の行事として
定着化している

事業の 効果

子ども⇒多様な体験の機会

ボランティア⇒交流の張り合い 反応し喜び

前提の再確認

わたしたちを
取り巻く環境

社会の複雑化・高度化
住民ニーズの多様化・複雑化

持続可能な社会を目指そう！

自分たちの自治体・地域が衰退することなく、自分たちも将来の世代も豊かに暮らせるコミュニティ

新しい公共

地域住民を支える役割を行政だけでなく
地域住民を含めたなかで考えよう！

社会教育に
求められること

個々人の要求課題（これやってみたい！）を充足



地域における必要課題（これやらないと！）への対応のための
地域住民を巻き込んだ学習機会の充実

まとめ

見つめなおす

高齢者 = 単純に支えられる人...と一律にとらえるのではなく

多様な経験・知恵を持った社会の支え手・担い手

理想像

高齢者が主体（担い手）となった活動が続いていく

自走
定番の活動・行事

必要な要素

喜び・楽しさ

やりがい

まとめ

なにによってもたらされる？

喜び・楽しさ

やりがい

いつもと違う状況を
設定する
(例 異年代交流)

それは...

刺激

多様な経験・知恵の
活用ができる場を
設定する

☞ "ハレ"のシチュエーション
☞ 社会参加・社会貢献の実感

コーディネート能力

そのためには...

明確なねらいを持って

人と人・人と活動・活動と活動を

つなげる

地域のよさ・課題
地域の人・活動
(常に情報を更新)

普段から...

地域を知るアンテナを張っておく
地域の人と関係性をきずいておく

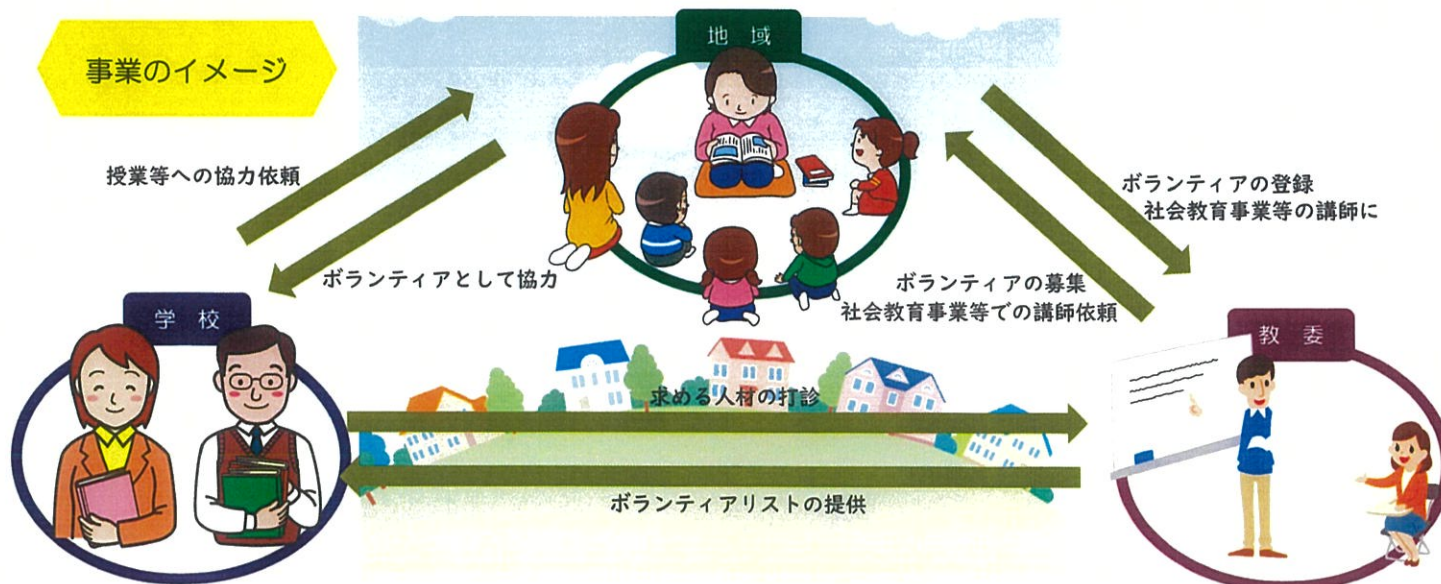
高齢者の経験・知恵によって
他世代の学びが深まり
それによって高齢者自身も
新たに発見し学び
そんな円環が
ひととまちを育てる

最後に 今後の展望

学校支援地域本部事業 秩父別町地域ボランティアバンク

目的

- ◆地域の大人が子供たちの教育に関心を持ち、地域の子どもは地域で育てるという意識のもと、これまで以上に学校と地域が一体となって子供たちの成長を支える環境づくりを推進する
- ◆町民が学校教育や社会教育事業等において、自らの学習成果・経験を生かす場を広げ、町民の生きがいの充実を推進する





ご清聴ありがとうございました